

多高通信

第217号 令和5年11月28日発行



宮城県多賀城高等学校

大型旅客船事故対応訓練に参加!



10月25日(水)に普通科の生徒21名が海上保安部の実施する大型旅客船事故対応訓練に参加しました。普段は、苫小牧と名古屋を結んでいるフェリー「きたかみ」を使用し、その船中及び周辺海域で実施しました。生徒は、「要救助者役」で参加し、医師や看護師のトリアージ訓練に協力しました。貴重な体験から、進路についてより深く考える機会となりました。

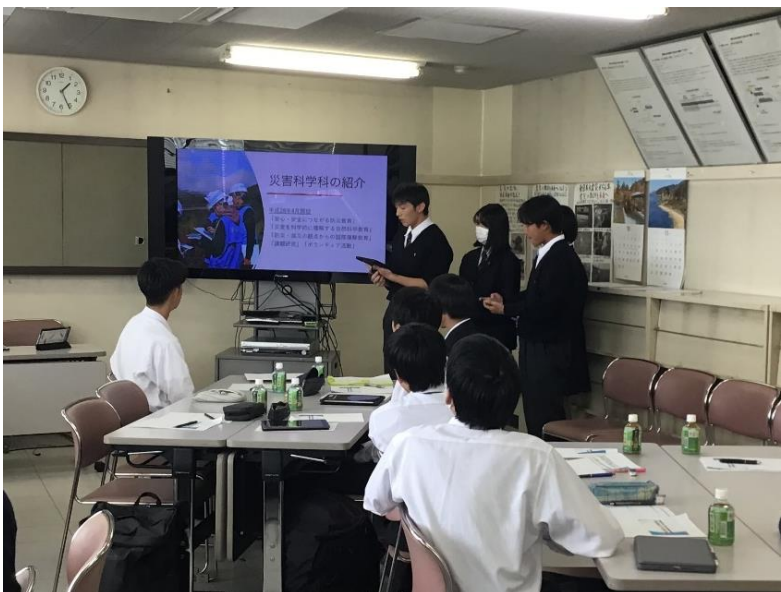


JR東日本における津波避難

意見交換会

災害科学科の生徒4名が、10月7日(土)に東日本旅

客鉄道株式会社宮城野運輸区の協力により、電車に乗っている時に地震・大津波警報が発令された場合の避難方法についての意見交換会を行いました。JR東日本の安全対策を職員の方から説明いただき、また、課題研究で行っている乗車時の避難行動についての調査結果を発表しました。地震・大津波警報が発令されたときの避難訓練にも参加させていただき、日頃なかなか考える機会



がない、電車に乗っているときに津波の避難の方法を様々な経験を通して幅広い視点から考える貴重な機会になりました。

災害科学科2年 栗駒・気仙沼巡検!

10月25日(水)・27日(金)に栗駒気仙沼巡検を行いました。露頭見学や試料採取に適した県内外のフィールドにおける地学分野の観察や調査の野外実習を通して、地域を取り巻く地球環境を理解すること、また、これまでの学習をもとに岩手宮城内陸地震や東日本大震災の被災地を巡り考察することを通して、防災への意識付けの強化を図ることを目的として実施しました。東北大学学術資源研究公開センター教授の高嶋礼詩先生や栗駒山麓ジオパーク推進協議会専門員の鈴木比奈子先生などから講義をいただき、実りのある研修となりました。

【生徒の感想】

2年7組5番 石沢咲葵

今回は今までに学んだことがなかったことが多く、津波の被害が大きく多い街だからその被害というものがたくさんあり、翌日以降の苦労もたくさんあるということが分かりました。その現場において辛い経験をされた方

から実際に経験したお話をたくさん聞くことができたので、今回新しく得られた知識を無駄にしないように災害時に役立てて、避難してきた人々を助けられるように、より知識を深められるような活動をしていきたいです。

2年7組2番 浅野陽菜

私は当時4歳で東日本大震災の記憶がなく全く覚えていません。しかし、このたくさんの方の大きな被害をだした東日本大震災を風化させてしまうとまた大きな被害が出てしまいます。自然の力には敵わなく災害を止めることはできませんが被害を抑えることはできると思います。風化させないように、そして被災者や被災物が増えないよう今回学んでことを含め伝えていきたいと思っています。



災害科学科1年 つくば研修!

つくば研修!

10月26日(木)・27日(金)につくば研修を実施しました。防災科学技術研究所などを訪問し、自然科学・災害科学の最先端研究に関する知見を深め、その成果を元に災害理解・防災研究の分野への社会貢献の方法について学習しました。また、実習を行う中で、データ等の具体的な活用方法など、研究手法について研究者から直接学ぶ機会貴重な機会となりました。



防災フェス

「学防災(まなぼうさい)」参加

11月3日(金祝)イオンモール新利府店南館を会場に開催された防災フェス「学防災(まなぼうさい)」に、災害科学科1年生の生徒が参加してきました。北海道・三陸沖後発地震注意情報の説明や、各家庭における避難方法や家庭備蓄の必要性などを小さなお子さんを抱えるご家族と一緒に考える取組を行いました。日頃から地震をはじめとする自然災害への備えの啓発を行い、生徒はフーシリティの技術向上や日々の学びのフィードバックを行いました。

